

館一生のみなさん、こんにちは。夏の予定は決まっていますか。図書館ジャーナル第2号では、先月までお世話になった教育実習生のみなさんに ① 高校生にオススメの本 ② 通っている大学の魅力 を聞きました。いろいろなジャンルの本がおすすめされていて面白いですよ。また、学校の魅力は、通っている学生ならではの情報です。実際に大学生活を送る人が何を魅力に感じているのか、想像してみてください。また、これを参考にオープンキャンパスに出かけてみるのもいいですね。夏の予定がまだの人は是非！

水川 樹 先生 (英語・学習院)

① 『君たちはどう生きるか』 吉野源三郎、『そんな友だちなら、いなくたっていいじゃないか!』 斉藤孝、“Who Moved My Cheese?” Dr. Spencer Johnson、“How to Win Friends and Influence People” Dale Carnegie

② 学習院大学は、全ての学部・学科が1つのキャンパス内にあるため、幅広い交友関係を築くことができます。最寄り駅から徒歩1分未満の好アクセス、都心とは思えない豊かな自然に囲まれた長閑な雰囲気が魅力です。

加藤 大祐 先生 (国語・文教)

① 伊坂幸太郎さんの作、『陽気なギャングが地球を回す』がおすすめです。推す理由としては、読みやすく面白いからです。読みやすいストーリー設定と、内容のチームで戦うという所が高校生にはおすすめです。

② 私は文教大学に通っています。文教大学は教師を目指す人が多く、校風は落ち着いていて過ごしやすい大学生活です。立地も埼玉で田舎にも都会にも近く、アクセスも良いのが1つの魅力だと感じています。

間々田 勝洋 先生 (数学・北海道)

① 『数学ガール』はシリーズで出てますが、第一作が一番好きです。数学的な事象をある程度分かりやすく紹介してくれているのでオススメです。

② 北大の魅力は広大な敷地と、そこに広がる大自然です。北海道の一番の都市札幌にあるので利便性が高いのも魅力の1つです。

斉藤 真奈 先生 (家庭・東京家政)

① 私がオススメする本は『頭がよくなる思考術』です。私自身悩んでいる時にこの本を読み、自分らしく生きる為の思考の広げ方は身につけることができました。誰の声も聞かず、しかし何かに頼りたい、そんな時に読んでほしい本です。

② 作品制作などの実習授業が多く、実践的に学ぶことができるのが魅力です。自分の好きな事、興味のある事を学ぶ事が出来る為、毎日充実したキャンパスライフを送っています。





奥田 悠希 先生（数学・筑波）

- ① 私のオススメする本は坂口安吾著の『墜落論』です。この本は第一次世界大戦後の日本人の倫理観を独自の目線から考え、それを独特の調子で述べています。この本には戦後に限らず、現代にも通じる日本人像が描かれています。70年以上前の本が現代にも及ぶ内容で書かれており、私は衝撃を受けました。長い本ではないのでぜひ手にとってみてください。かなりおもしろいです。
- ② 留学生が多くいて、グローバルです。

工藤 凱門 先生（生物・筑波）

- ① 私がすすめる本はシオラン『悪しき造物主』とヴィトゲンシュタイン『論理哲学論考』です。前者は徹底したペシミズムに基づく本、後者は言語と世界を平行にとらえて構築していく内容です。どちらも生について人生をかけて考えた人達の傑作です。多感な高校生のみなさんには毒にも薬にも成ると思います。
- ② 筑波大学はとにかく広くて変人が多いです。何かやりたいことが決まっているなら、きっと熱中できる環境が見つかるはずです。

平井 順太 先生（数学・筑波）

- ① マスカレードシリーズ。ホテルマンと刑事が協力して事件を解決するお話。読んでいくとどんどんすいこまれていくのでおすすめです。
- ② 筑波大学に通っています。体育会の部活がとても強いのが魅力です。自分が実際にやっても楽しいし、観戦しに行くのも楽しいです。また、キャンパスが広くて自然豊かです。休み時間、芝生に寝転びながら池や空をながめる時間がめっちゃ楽しいです。

岡 裕一朗 先生（物理・筑波）

- ① 僕のおすすめの本は、三浦しをんの『風が強く吹いている』です。陸上素人を集めて、箱根駅伝を目指すという物語です。最初は嫌々練習していたメンバーが、徐々に一致団結していく姿はとても素晴らしいものです。
- ② 僕が通っている筑波大学は、体育専門学群があることから、部活動を本気でやりつつ、勉強もがんばれる点が魅力だと思います。僕のいる陸上部には、全国トップの人や医学部の人など多様な人と会うことができます。

城 智恵 先生（化学・筑波）

- ① 私のオススメする本は『珈琲店タレーランの事件簿』です。この作品は、情景描写が丁寧に描かれているため、普段小説を読まない方でも楽しめる一冊となっています。この本を読むと、自分が如何に固定観念にとらわれているかが分かります。是非読んでもらって、頭を柔らかくしてもらいたいと思います。
- ② 私の通っている筑波大学には非常に大きい図書館があります。本に興味のある方は、志望校の候補にくわえてみてはいかがでしょうか。